



介助者・谷内進さんと



和倉温泉総湯前で取材中

### これまでの取材活動

- 2008年 羽咋駅、七尾駅に導入された階段昇降機と駅の取材・撮影
- 2009～ 七尾市コミュニティバス「ぐるっと7・西コース」の路線沿いの取材・撮影
- 2013年 青山彩光苑・直津町・松百新町・能登総合病院・小丸山台・恵寿総合病院のバス停の取材・撮影
- 2014年 七尾駅構内・駅前・パトリア・ミナクル・小丸山城跡公園・中能登事務所の取材・撮影
- 2015年 七尾駅前から御祓川大通り・一本杉通り商店街の取材・撮影
- 2016年 前年の継続として御祓川大通り・能登食祭市場・七尾マリンパークの取材・撮影  
作成した冊子について第17回石川県バリアフリー社会推進賞 活動部門・優秀賞受賞
- 2017年 のと鉄道に乗車し車内・和倉温泉駅・和倉温泉街・加賀屋・旅館の取材・撮影

桶屋 善一(青山彩光苑に入所中)

1954年3月16日 宝達志水町生まれ

生後間もなく脳性麻痺の障害にかかり、手足や言語に障害があり、6歳から障害児施設で機能訓練、手術等を行う。

小・中・高は養護学校。高等部卒業後は、障害者授産施設に入所。1985年に七尾市の障害者支援施設「青山彩光苑」に入所。障害者向けの機関紙「HSK季刊わたぼうし」を33年間(1985～2018年)編集。

2008年よりデジカメに興味を持ち、電動車いすにデジカメを取り付け、七尾市コミュニティバス「ぐるっと7」沿線、七尾市内のバリアフリー状況を取材、編集している。



手が不自由なのでデジカメを持たないため、電動車いすに固定する自助具を造り、撮り始めました。